

血液内科

池田弘和

当院血液内科では、血液疾患全般について診療しています。具体的には、赤血球系では再生不良性貧血、溶血性貧血、白血球系では各種白血病、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫、止血・凝固系では特発性血小板減少性紫斑病などです。これらの疾患を適切に診断し、最新のガイドラインに沿いながら、患者さんの意向もふまえて個々のケースに最適な方法を選択し、治療を行います。病棟には無菌室が4床設置され、造血器腫瘍の治療では、通常化学療法の外に、自家末梢血幹細胞を主とした造血幹細胞移植支持による超大量化学療法も可能です。また、年齢、合併症や治療抵抗性により根本的な治療が困難な症例では、QOLを重視した治療法や緩和医療も選択しています。臨床的に特異な症例については学会等で報告し、また他施設とも協力して臨床研究を行っています。

【2015年度 研究発表業績】

B-4

多田雄真、池田弘和、水野香織、井上信正、釜江 剛、吉田 均、石川 淳、烏野侑子、菅原浩之、中川雅史：Additional Chromosomal Abnormalities at Diagnosis in Patients with Chronic Myelogenous Leukemia in Chronic Phase. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会、札幌、2015年7月16日

Tada Y, Ikeda H, Mizuno K, Kakunaga S, Kudawara I, Ueda T, Inoue N : Clinical features and prognosis of primary lymphoma of bone: A single-institutional experience. 第77回日本血液学会学術集会、仙台市、2015年10月16日

B-6

柴田久美、多田雄真、水野香織、池田弘和、井上信正：治療関連骨髄異形成症候群から急激な経過で急性巨核芽球性白血病に進行した1例。第103回近畿血液学地方会、京都市、2015年6月20日

中村雅之、福富啓祐、中水流正一、石田 永、池田弘和、廣田和之、森 清、児玉良典、大澤政彦、三田英治：ウイルスDNA定量が診断に有用であった成人EBウイルス関連血球貪食症候群の1例。第208回内科学会近畿地方会、京都市、2015年6月27日